

復興を歩む

vol.4

昇口舗装

村での生活環境を整備する「帰還
再生生活道路整備事業（昇口舗装事
業）」が進められています。

昇口とは、公道から自宅までの引
き込み道路のことです。除染を終え
た後にアスファルト舗装を施すこと
で、除染の効果がさらに高まる上、生
活上の利便性も向上します。村には
3月末の締め切りまでに、500件を
超える事業利用の申し込みがありま
した。

この事業には、村民の皆さんが避難
のみならず除染工事でもさまざまに
苦勞されている中、少しでも「やって良
かった」と実感できる事業をという思
いが込められていて、費用の80%が助
成されます。

また、昇口舗装の機会を利用して、
自費で庭先などの舗装や、側溝の敷

設などを行うこともできます。工事
内容と日程については事前に打ち合
わせや調整が行われ、村担当者が立
ち会って現地の確認作業も行ってい
ます。

写真は赤石澤重光さん（二枚橋・須
萱）宅の昇口舗装のようすです。表土
のはぎ取りと路盤工事を済ませた昇
口に、この日は仕上げの舗装を行って
いました。作業していたのは現場監督
や職人ら14人。庭先から昇口に、丁寧
にアスファルトを敷き、ロードローラー
などで締め固めます。現場を確認し
ていた英工務店の三坂光さん（白石）
は「皆さんが戻って来られるよう我々
業者もがんばっていますよ」と笑顔を
見せました。

後日、赤石澤さん宅の昇口舗装の
出来栄えについて息子の重明さん（う
かがうと）「思ったより立派にできてい
たね。今までは砂利だったので雨に流
されたりもしていたからやって良かった
と思うよ」と工事の成果を話してい
ました。

ダンプカーが運んできた熱いアスファルトは、職人が手作業
できれいに敷き詰め、ロードローラーが何度も往復して平ら
にならしていました。路肩などは別な小型の機械で丁寧に
仕上げられていきます。赤石澤さん宅の庭先から長い昇口
にかけて厚さ4cmで敷かれたアスファルトは、合計で約30t
にのぼるということです。